



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0063 彦根市中央町3-8彦根商工会議所 3階
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

最適な走りで産地の活性化を 令和8年年頭のご挨拶



理事長 濱口 浩

(宮部鉄工(株) 代表取締役)

新年あけましておめでとうございます。今回の年末年始は、曜日の関係で休みの入りがやや早く、長めの休暇を楽しまれた方も多かったかも知れませんが、新年に向けて心身ともに十分な準備を整えられたことと存じます。

昨年は、大阪で大阪関西万博が、また地元滋賀では国スポ・障スポ2025が開催されました。特に万博では、一部の事前予想で開催自体や盛り上がりや危ぶむ声もありましたが、蓋を開けてみれば、迫力ある大屋根リングを二度は見てみよう」と多くの方々の方々の来場が絶えず、長く賑わいを感じる事が出来ました。

その一方で、国内外では米国の貿易関税交渉や令和の米騒動を経て、史上初めての女性総理による高市内閣が発足しました。当地滋賀のバルブ業界は、これまで景気や為替の動向、原材料、物流、求人難などにより一進一退を繰り返しながら、各位の努力により着実に成長してまいりました。本年が国はもとより、地方や中小企業にとっても希望を持って成長を実感できる変化の年となることを切に期待したいと思います。

さて今年も午年です。馬は古来から、荷役、農耕、乗用など様々な場面で人間の暮らしに近い、親しみのある生き物であり、「活発さ」「前進」「飛躍」などのポジティブなイメージがあります。馬

術用語では、馬の走法にはトロット、キャンター、ギャロップなどの種類があり、目的や状況により馬を操る技術が求められるそうです。当組合では、本年も会員企業に変化していくマーケットと社会状況、雇用環境の中で、各種事業を通じて協調・共創の精神を持って、最適な走りや産地の活性化を担えるように、会員に寄り添った伴走をしてまいりたいと思っております。



本年も、より一層のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

副理事長 岡一嘉

(日の本辨工業(株) 代表取締役)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。組合員並びに賛助会員の皆様には日頃よりお世話になり厚く御礼申し上げますとともに、本年も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い致します。

昨年、米国でトランプ大統領が就任したことや経済安全保障の意識が高まり、日本もその影響を大きく受ける事となりました。政府が掲げた経済安全保障強化の施策の中では、これまでオワコン扱いであった造船を中心とする海軍産業が取り上げられています。政府は「造船業再生ロードマップ」を策定し、

官民合わせて1兆円規模の投資を呼び込む基金創設を決定するなど、国内造船業の強化に向けた取り組みを本格的に推進。長らく中国・韓国に抜かれて世界シェア3位(10%)に甘んじてきた国内造船業にとって、ここから巻き返すのは容易な道ではありませんが、危機感を抱き続けてきた業界において大きな「最後のチャンス」かと思われ、しかしながら、造船・船用業界では依然として深刻な人手不足が懸念されており、人材の確保・育成をはじめ、多岐にわたる課題をどのように乗り越えていくのか問われております。

一方、世界的にAIの導入が一段と加速し企業のみならず個人においても日常的にAIを利用する段階へと進展しました。こうした技術革新や先に述べた業界動向の変化に対して、私たち二人ひとりがどのように向き合うか。業界の一員として責任を持ち課題に前向きに取り組んで、より良い未来へとつなげていくかを意識し、行動していくことが求められています。従業員一同、その思いを共有し2026年も明るい一年を築けるよう、力を尽くしてまいれる所存です。

最後になりましたが、組合員並びに賛助会員の皆様のご隆盛とご健勝をお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



副理事長 大須賀 貴幸

(株)大鳥製作所 代表取締役社長)

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様には日頃より大変お世話になり厚くお礼申し上げます。昨年を振り返って印象的だったのは、大きな変化が次々と起きたということと様々な課題が浮き彫りになったことです。

万博開催、初の女性首相誕生、クマとの新しい関係性、メディアの在り方の変化、物価高騰による生活苦、賃金と物価のギャップ、少子高齢化の加速、AI時代の倫理、情報の真偽を見極める力、デジタルとアナログのバランス、等々。これらの変化や課題に完璧な答えは出ていませんが、議論を始めたこと自体が前進なのだと思います。

組合も事務局を移転することとなり、大きな変化を迎えました。材料検査等で組合員の皆様にご迷惑をお掛けすることの無いよう心掛けたいと存じますが、収入源である材料検査の総量が小さくなったり、県や市等からの補助金、助成金が減額されたりする一方で経費が膨らむという構造は避けられないのも事実です。

組合員全員が納得できる形で組合の運営が安定的に継続できる方法を模索していくしか他に道は無いと思っております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

令和八年の干支は丙午。「情熱」「エネルギー」「行動力」「改革」がキーワードだそう。新しいことを始めるには最適な年とされますが、その分、勢いが強く出すぎてトラブルや衝突も起こりやすいともいわれています。

大切なのは、変化を恐れず、前向き



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0063 彦根市中央町3-8彦根商工会議所 3階
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

に捉えること、課題から目を背けず、対話を続けること、自分らしさを大切にしながら、他者も尊重すること、心の健康を保ち、癒しを求めることだと思います。

変化の波は止まりません。むしろ、これからもっと速く、大きくなるでしょう。令和八年は、こうした変化に押し流されず、勢いとエネルギーに満ちて、年間を駆け抜けたと思います。

最後になりましたが、組合員並びに賛助会員の皆様の益々のご隆盛とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



日本バルブ工業会

彦根支部長 小田 仁志

(株)キッツエスジーエス 取締役相談役

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、(社)日本バルブ工業会彦根支部の活動に格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。皆様のお力添えにより支部活動を着実に推進することができましたこと心より感謝申し上げます。

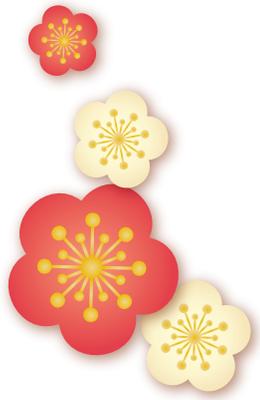
さて、我々の業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。円安の進行やエネルギーコストの高止まりは製造業にとって深刻な課題であり、コスト増加や価格転嫁の難しさ

など企業経営に大きな影響を及ぼしております。さらに、いわゆる下請法の施行に伴う取引の適正化への対応も求められており業界としての連携と情報共有がこれまで以上に重要になっております。

こうした状況の中、当工業会では会員企業の皆様とともに課題解決に向けた取り組みを今後さらに進めてまいります。具体的には、情報交換の場の充実、行政との連携強化、技術力の向上や人材育成など、多方面にわたる支援を展開してまいります。

また、未入会の企業様におかれましてはぜひこの機会にご入会をご検討いただきたく存じます。ご参加いただくことで業界の最新情報の共有、技術交流、行政対応など様々なメリットをご提供できます。地域のバルブ産業のさらなる発展のため、皆様のご参画を心よりお待ちしております。

本年も、業界の健全な発展と地域社会への貢献を目指し支部一丸となって取り組んでまいります。皆様にとりまして健康で実り多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



(株)清水鐵工所

代表取締役 清水 智弘

明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお祈り申し上げます。

2026年を新たな気持ちで迎えることが出来たことに、心より感謝申し上げます。

令和6年4月、水道事業に関する行政は厚生労働省から国土交通省および環境省へ移管されました。本制度の核心は、水道の整備・管理業務のうち、水質・衛生に関する部分を除く全般を国土交通省が管轄し、水質基準の策定や水質・衛生管理を環境省が担うという新体制にあります。これは、日本の水道事業が直面する喫緊の課題に対応するための改革であり、施設の老朽化対策、災害時の対応力強化、そして持続可能な事業運営といったインフラ管理の専門性が求められる中で、私たちの役割は一層重要性を増していると感じております。

本年は、こうした変化を確かな成長へとつなげるために、「持続可能性」と「協働」をキーワードに掲げたいと考えています。気候変動や人口動態の変化に伴う水資源の課題に対して、業界全体で知恵と技術を共有し、地域社会からの信頼に応えられる企業であり続けることを目指します。

弊社においても、品質の追求を基盤としつつ、デジタル技術や生成AIの活用を通じて業務効率化と新たな価値創造に挑戦してまいります。さらに、従業員一人ひとりが誇りを持って働ける環境を整え、多様な働き方を尊重する文化を深めることで、組織全体の力を高めてまいります。

「最大の企業たるよりも 最良の企業たる」の社是のもと、バルブ製造を通じて社会の安全・安心に貢献し続けることをお約束いたします。

最後に、皆様の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

清水工業(株)
代表取締役 清水 康裕



新年あけましておめでとうございます。私事ではありますが、会社の代表を引き継いでいよいよ15年目の年を迎える事になりました。振り返ると本当に色々ありました。何とか15年間も事業をやって来られたことへの安堵しかありません。組合に所属していたからこそ、学べるがあったと思いますし、多くの事業へのヒントを頂いたと思います。

今年も事業に邁進したいと思いますが、これまでもこれからも、やっていくことは同じです。『課題の解決』です。仕事をしていると、大小さまざまな課題が出てきます。使える資源(人、モノ、お金など?)は有限です。いきなりすべての課題の解決は不可能なので、あとは優先を決めるのと、無駄を減らすことぐらいでしょうか?今出来ないことは後回しにして、出来る事だけを出来るところからコツコツすればいいと思います。時には思い切ったやらないといけないこともあると思いますが、周りを見ながらバランスを取りながらやっていけば大丈夫なはず。と、自分にも言い聞かせて、勇気をもってまた1年頑張っていきたいと思っております。本年もよろしくお祈りいたします。



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0063 彦根市中央町3-8彦根商工会議所 3階
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

(株)昭和バルブ製作所

代表取締役社長 中川 陽介

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年の中を振り返りますと、国際秩序の揺らぎや政策の転換が起きる中で、多面的な変化が同時進行で進んだ複雑な一年であったような気がしています。どうやらこの流れは加速しそうな気配があり、かつて常識だった価値観や仕組みの一部は決してゆっくりと時間をかけずに、短期スパンで更新されていきそうです。このような慌ただしい外部環境ですので、相対的に自身や自社が取り残されているような感覚を覚えています。もうのま正直なところですが、今年「勢い」と「躍進」を象徴すると言われる午年です。この気運を活かし、積極的な挑戦と迅速な意思決定で、さらなる成長と新たな価値創造に取り組む一年にしたいと思っております。

本年が皆様にとって実り多き一年となりますよう祈念いたします。令和8年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

大宗(株)

代表取締役社長 鈴木 宗亮

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年は夏の記録的な猛暑や国際情勢の不安、トランプ関税による影響また円安、物価上昇による原材料の高騰など様々なことがあった一年であったかと思えます。やはり銅合金の铸件屋にとつては夏の猛暑と原材料高騰に対応することが大きな問題であったと思えます。今後この様な環境リスク

や様々な問題に対応することは大変難しいことですが精一杯知恵を絞って対処していきたくと思っております。そのためにはやはり健全経営で利益を上げていかなくてはなりません。そうするためにも【高付加価値製品×技術力×経営効率化】が重要であると考えます。また新しい技術として特に3Dプリンターの活用や工場の自動化に向けて勉強していきたいと考えています。製造業にとってAIやロボット化などを取り入れたスマートファクトリー化は非常に壁が高いとは思いますが、今後の品質の安定化や生産性の向上、労働力不足や熟練技術者の減少への対応に繋がっていきたいと思っております。

新春メッセージ

松尾バルブ工業(株)
代表取締役社長 松尾 直樹



新年あけましておめでとうございます。

さて、昨年の夏の甲子園でベスト4の成績を収め旋風を巻き起こした県立岐阜商業。そして最も注目されたのが生まれつき左手の指がないにも関わらずレギュラーとして攻守ともに大活躍

をされた横山温人選手のプレーに感動した方は多いのではないのでしょうか。守備をする際もバットを振る際も手の指の役割は大きく、その指がない中で工夫と血のにじむような努力の結果、強豪校でレギュラーをつかみ取り、甲子園で大活躍する姿に鳥肌が立ちました。

横山選手の活躍する姿を見て、35年以上前に読んだ本で思い出したことがあります。僕が小学3年生の時に何度も読み返していた学研の付録「ヒットまんが」で特集されていたメジャーリーガーのジム・アボット投手です。アボット投手も先天的に手首から先がないにも関わらず、オリンピックで金メダルを獲得したり、メジャーリーグでノーヒットノーランを達成したりと伝説的な選手の一人です。まんがの中で「アボットスイッチ」(II グラブスイッチ)と呼ばれる技術でボールを投げた後に素早く同じ腕の指にグローブをはめ、ボールをキャッチした際には、素早くグローブを逆の腕に挟んで外すと同時にボールを握って投げられる高度な技術を武器にメジャーリーグで活躍されていました。

横山選手やアボット選手に共通していることは、グラブスイッチという技術だけでなく、障害があっても本人が好きな野球をやり続けてきたこと、野球をさせてみようという親が前向きで「どうやってできるか」について寄り添ってあげたこと、そしてうまくなるための練習に人一倍取り組んできたことです。何かのせいにしてできない理由を言いがちな時代の中で本当に多くの人が横山選手に力をもらったと思えます。

横山選手は、甲子園出場という夢を果たし今後岐阜県の大学に進学予定で

更に高いレベルの野球にチャレンジされプロも視野に入れています。また、合わせて、「自分のようなハンディを背負っていても、関係なくできるんだぞ」というところ

を甲子園の舞台でもしっかりとアピールして、ハンディを抱えた子たちにも勇気や希望を持って自分でも出来ると思ってもらえるようにプレーしていきたい」とも話されておられました。「一生懸命に野球に取り組むことがハンディキャップを持つている人の可能性をつぶさないことや、チャレンジのきっかけをつぶさないことなどの社会課題の解決につながっていくと信じてプレーされています。

また、年末の大掃除の際に、実家にあつた30年近く前の漫画「キャプテン翼 ワールドユース編」を読んできました。この漫画の中の大空翼の優勝スピーチで、「どうして人間はいけないとわかってる戦争を起こすのでしょうか。僕はこの世界から戦争をなくしたい！神様はこの世界にサッカーという素晴らしいスポーツを授けてくれた。戦うなら正々堂々サッカーで戦おう！ボクはサッカーで世界平和を訴えたい『サッカー世界平和宣言』これが僕の優勝スピーチです」という場面があります。ご存じの通り、大空翼の夢はワールドカップ日本優勝ですが、そこに向けて一生懸命にサッカーに取り組むことで社会課題である戦争をなくす力になると信じてプレーしています。





滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0063 彦根市中央町3-8彦根商工会議所 3階
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

何のために生きているのか、何のために仕事(プレー)をするのか、我々の仕事(プレー)がどのような社会課題の解決につながっているのかということについてしっかりと考えて2026年を始動したいと思います。

青年部部长 松林 克蔵
(株)マツバヤシ代表取締役社長)

謹んで新春のお慶び申し上げます。旧年中は格別のご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は銅合金をはじめとする非鉄金属材料の高値が続き、当業界にとつて厳しい環境となりました。それにもかかわらず、皆様との協力により、安定供給が継続できたことを深く感謝いたします。

一方で昨今の国際情勢、特に高市総理体制下での対中、対米外交の動き、中国・アメリカとの経済関係や貿易の行方は、我々の産業界にも少なからず影響を与えると見ております。世界的な資源需給、原材料市場の動揺、そして各国の政策が相互に絡み合う中、今後も不透明な局面が続くと考えられます。そのような状況下であっても、皆様から知恵をもらい、協力して安定供給に努めていきます。

2026年の午年は「丙午」で、丙も午も共に火を表すと言われ、火の気が非常に強い年とされます。難しい年になると思いますが、皆様と一緒エネルギーギッシユで情熱的な年となりますよう知恵を出し合い協力していけたら有難いと思っております。

本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。



(株)ミヤジマ
代表取締役社長 宮嶋 俊介

【傘を大きくすることは自分でもできる】

昔、ある人が、松下幸之助さんに「経営の極意はなんですか？」と尋ねた時、しばらく考えてから答えられたのが「それは、雨が降れば傘をさすこと、雨が降らないうちのことですな」ということだったそうです。「なんだ、そんなあたりまえのことか」と思いますが、実に奥が深い言葉です。

世の中には自分で「なんとかできること」と、自分では「どうすることもできないこと」の二通りがありますが、例えば天気は「どうすることもできない」代表例です。

天気を意図的に晴れにすることは誰にもできないのですが、天気が良いと「宮嶋さんはお天気がいいね」と言われると嬉しくなったりします。でもこれはまったく根拠のないお褒めの言葉であり、晴れになったのは偶然にすぎないのですが、一応、晴れ男について

科学的根拠があるのかを調べてみました。結果は、「気象現象を個人的な力でコントロールすることはできない」とのことです、やはりまったく科学的根拠はありませんでした(笑)

前置きが長くなりました。お伝えしたかったのは、雨が降ることは自分ではどうすることもできませんが、傘をさすことは「自分でできる」ということです。ただこれが実に難しい。私がこれまで持っていた「雨が降れば傘をさす」のイメージ図は、どんな雨でも完全にシャットアウトしている図であり、「それは自分には無理かな」と正直思っていました。しかし、幸之助さんの話をもう少し、ちゃんと聞いてみると、「傘はさす」が、「すべての雨を防ぐことはできない」とおっしゃっていることに気づきました。

自分のなかで「なるほど！」となりまして、「なんだ、雨に濡れてもいいのだから自分にもできるかも」と思いました。イメージ図はこんな感じに変わりました。傘は倍以上に大きくなり、少量の雨ならまったく濡れない。どしゃ降りの雨がきたらさすがに完全に防ぎきれないが、ビショビショになることはない。傘の骨組みもガッチリしていて、暴風でも簡単に壊れない傘に変わりました。

傘を大きくするには、「今」という「点」でみると「できない」と思うことでも、「その先」、ちょっと頑張れば出来るという「線」でみて、自らのレッドゾーンを高めることと書いています。今年もたくさんさんの困難が降りかかってくると思いますが、自らのレッドゾーンを高めて、傘を大きくできるような努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(株)水研
代表取締役社長 佐藤 康成

新年あけましておめでとうございます。滋賀バルブ協同組合の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

近年は、円安やエネルギー高に加え、米価の高騰や長期金利の上昇など、マイルドなインフレが定着してまいりました。一方、業界に目を向ければ、高度成長期に布設された管路が徐々に耐用年数を超え、大規模破損事故が発生するなど、インフラ更新の必要性が社会的にも強く認識されつつあります。しかし、たとえ更新需要が高まったとしても、官民双方で人手不足や技術伝承の課題が顕在化し、「予算さえあれば解決できる」時代ではなくなりました。さらに、人口減少や節水意識の高まりを背景に、インフラの更新・ダウンサイジング、既存設備の長寿命化・複線化に加え、撤去・閉塞といった縮退の議論も進みつつあります。こうした多様で複雑な課題を、むしろ新たな価値創造の機会と捉え、課題解決こそが企業の出発点であるとの視座を持ち続けたいと考えております。

新年を迎えるにあたり、当社は昨年までに積み上げてきた取り組みを土台に、さらに前進し、未来への礎を築くべく、不撓の挑戦を続けてまいります。最後になりますが、組合員各社様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。本年も変わらぬご支援・ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。





滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0063 彦根市中央町3-8彦根商工会議所 3階
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

新春メッセージ

(株)高砂商店
代表取締役 高岡 佑輔



令和八年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組合の皆様には日頃よりお世話になり、厚く御礼申し上げます。

2025年は万博が開催されました。様々な課題もあり、4月には1日の来場者数が10万人を下回る日もありましたが、9月に入ってから20万人を超えており、閉幕まで多くの来場者でにぎわいました。弊社の大阪本社から新大阪と万博会場を結ぶバスやタクシーの専用道路が見えるのですが、4月はバスの中に運転手だけでは...という状況から、7月以降、往来が明らかに増えておりました。多くの方が関西を訪れており、ホテルも満室が多く、関西圏の経済効果は非常に大きかったのではないかと感じています。

足元では物価高や人手不足が深刻で、また、企業に熱中症対策が求められるなど大きく事業環境が変わってきていると感じております。

その中でも弊社は変化に柔軟に対応しつつ、社員一同、滋賀バルブ協同組合の発展にご協力し、よりよい塗料や塗装方法のご提案を心がける所存でございます。

昨年同様にご何卒、ご愛顧を賜わりますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、滋賀バルブ協同組合と会員、賛助会員の皆様の益々

のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。

(有)田中印刷所
代表取締役 田中 由一

新年あけましておめでとうございます。賛助会員として、日頃より滋賀バルブ協同組合の皆さまとご一緒できることを、大変ありがたく感じております。

前回の新年のご挨拶で、日立製作所さんの新聞広告のコピーを掲載させてもらいましたが、今回も同じくイオンの新聞広告のコピーを紹介させていただきます。

イオンの反省

私たちがイオンは、世の中の変化に対応できず、お客さまを見失っていたことを反省します。

100年に二度と言われる不況の中、イオンはお客さまが本場に求めている商品やサービスを提供できていませんでした。

◎イオンの価格は、他店にくらべて、決して安くはありませんでした。

◎イオンの売り場には、欲しいと思える商品が並んでいませんでした。

◎イオンは、お客さまへのサービス改善を、怠っていました。

私たちは、反省します。お客さまの声に深く耳を傾け、他の優れた企業から積極的に学びます。

もう一度、お客さまが求める本当の低価格、売場、サービスを取り戻すことに全力を尽くしていきます。

私たち協力会社は、皆さまの挑戦をそつと支える存在として、新しい取り組みや次の世代につながる動きと一緒に楽しんでいきたいと考えています。

2026年は、まず反省からスタートし、ワクワクする二年になりますように。本年もどうぞよろしく願っています。



業界短信

令和8年1月1日、株式会社キッツエスジーエス 高橋淳之氏が代表取締役社長に、小田仁志氏が取締役相談役にそれぞれ就任されました。

退任のご挨拶

このたび、昨年12月20日をもって、滋賀バルブ協同組合専務理事の職を退任致しました。在任中は、格別のご指導とご鞭撻を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。御礼のご挨拶とさせていただきます。

前専務理事 寺村康正

編集後記

令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より組合員、賛助会員、関係機関の皆様のご支援とご協力を賜り、無事新年を迎えることができましたことを心より御礼申し上げます。

令和7年は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした大阪・関西万博開催で各国からの訪日で賑わいを見せ、本県では「わたしのIGA輝く国スポ・障スポ2025」が開催されました。また、国政では史上初の女性総理大臣が誕生するなど、社会の空気を大きく変える出来事もありました。変化の激しい時代の中にもありながらも、わが国が未来に向けて新たな二歩を踏み出した年でもあったと感じています。

一方で、依然として中小企業・小規模事業者にとって厳しい環境が続いていることは事実で、円安・物価高の継続、金利の上昇、構造的な人手不足等、乗り越えなければならぬ課題は数多く存在しますが、今年も彦根バルブ業界発展のため、組合員の皆様と共に全国屈指のバルブ産地である彦根を効果的にPRし、更なる活性化に貢献できるように、新たな取り組みにも積極的に挑戦していく所存です。

結びに、本年が皆様にとって健やかで実り多い一年となりますことをお祈り申し上げます。

(事務局一同)